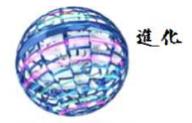


「新学期を迎えて」

猛暑の夏休みから一転、一気に秋になったような涼しい2学期の始まりとなりました。幸いにも休み中に事故の報告はなく、全生徒が無事に夏休みを過ごすことができたことを本当に嬉しく思います。しかし、コロナ禍の感染状況は全国的に予断を許さない状況が続いています。

始業式では、各学年1名の代表生徒が、生活や学習、部活動の取組について振り返り、2学期の生活への抱負を発表しました。校長は、夏の甲子園大会で、東北勢として悲願の初優勝を果たした仙台育英高校野球部監督の「青春ってやっぱり密なので、(行事など)そういうことは全部ダメだダメだと言われて、活動していてもどこかでストップがかかって、どこかで止まってしまうような苦しいなかで、本当に諦めないでやってくれた。」というインタビューを紹介しました。また、テレビで紹介された進化した玩具フライングボールを引き合いに出し「2学期もコロナ禍に対応しながらの生活が続きますが、あきらめず、他と比べるのではなく、それぞれの進化をめざしましょう。」と話しました。



藤原中学校長 堀越 真人

感染状況が少しでも改善し、一日も早く以前のように制限なく学校生活が送れることを願っています。

●職員紹介●

大橋 れい 先生 自己紹介 特別支援学級1組担任・2年英語担当・美術、吹奏楽部副顧問

「本年度8月から再び藤原中で働けることに喜びを感じています。特別支援学級を中心に2学年の副担任(教科担当・英語)として、日々生徒達と過ごしています。

笑顔あふれる藤中生は、登下校や廊下ですれ違うときの挨拶の音が明るく元気で、やる気を分けてもらっています。かけがえのない中学生時代が、生徒達の輝く成長の場となることを願いつつ、私も学び続けます。よろしくお願いします。」



2年生徒作品

●中学生MIRAIサミットに参加して●

8月20日(土)、日光青年会議所主催による「中学生MIRAIサミット」がザ・リッツカールトン日光で開催されました。

サミットに参加した生徒会長は、「私たちの街について、学校について考え直し、日光市について理解をさらに深めることができました。タブレットが普及し、便利に学習ができるようになった一方、問題点もあり、解決案を考え出しました。また、学校行事や伝統を変えていくこともとても重要で、他の学校の独自の取組などを聞くことができて大変参考になりました。生徒会活動も残りわずかですが、藤中をさらに素晴らしいものにできるよう、精一杯活動していきたいと思います。」と参加の感想を述べました。



運動会 「藤中のSports day～一発がつんと決めてやれ～」

1日延期となった運動会でしたが、多数の保護者の皆様にご来観をいただき、ありがとうございました。コロナ禍のゆううつや曇天を吹き飛ばす精一杯に取り組む生徒の姿に感動しました。特に3年生は、コロナ禍のため1年時は中止、2年時は、緊急事態宣言のため1ヶ月余り延期で半日開催、最後となった今年の運動会への意気込みを強く感じました。本番は、半日開催とは感じさせないほど充実したものになりました。



まずは、生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さん、今日一日お疲れ様でした。コロナ禍で数々の行事が規模の縮小や中止となっている中、運動会を無事とり行えたことを大変うれしく思います。今年のスローガン「藤中のSports day 一発がつんと決めてやれ」にふさわしい運動会だったと思います。同じ組の人と本気で競技に取り組む姿や勝ち負けさえ忘れて楽しんでいる姿であふれていました。三年間という短い中学校生活の中でも特に思い出に残る日になりました。改めて皆さん、今日一日お疲れ様でした。

～運動会実行委員長のあいさつより～

夏休み中の部活動等

- 7月22日(金)、鹿沼市民文化センターにおいて、上都賀支部吹奏楽フェスティバルが開催されました。コロナ禍の中、久しぶりの大きな舞台での発表に始めは少し緊張した面持ちでしたが、素晴らしい音色を奏でました。また、鬼怒川小学校の演奏に賛助出演し、息がぴったりと合った演奏に大きな拍手がおくられました。
- 7月25日(月)の栃木県総合体育大会陸上競技大会を皮切りに、3年生にとって最後の大会となる栃木県総合体育大会等が開催されました。本校生徒は陸上競技(佐野陸上競技場)、卓球(県南体育館)、少年野球大会(宇都宮総合運動公園)に出場し熱戦を繰り広げました。
- 8月19日(金)～25日(木)、第7回全日本中学女子軟式野球大会が、京都府伏見桃山城運動公園野球場等で行われました。オール栃木のメンバーとして本校から2名の生徒が参加し、25日の決勝で延長タイブレークの末、6-5で神戸レッドガールズ(兵庫)から逆転サヨナラ勝ちを収め、初優勝を飾りました。

